

おやのことば

元という、

ぢばというは、

世界もう一つと悪いもの、

思えば思う程深き理。

明治二八年十月十一日



会長

「我は元の神・実の神である。この屋敷にいんねんあり。このたび、世界一れつをたすけるために天降った。みきを神のやしろにもらい受けたい。」

この第一声から天理教が始まる（立教）へと動き出すのですが、この時の親神様の目的は世界いちれつをたすけるということです。でも人間の方は家（中山家）を守りたいという思いばかりで、到底思いは重なりません。この後、三日間の押し問答の末、親神様の思いが理解出来た訳ではありません。受けるしかなくて差し上げたのです。

さあ、今の私たちはどうでしょう。自分のことをしたり考えたりすることは決して悪いことではありません。しかし、自分のことばかりしか考えていないとするならば立教のその時（百八十三年前）と全く変わっていない、成長していないということになってしまいます。

私たちの世界を思うその心の積み重ねが、明日の世界を変えていくことになります。自分くらいがしても変わらないと思うか、自分からでもして変えていこうとするか。これはとても大きな違いになります。まずは自分から変えていきましょう。



神様の懷住まい

田中道則

暑い夏が終わり季節が移り変わっていきました。自分は宇宙に興味があって本や動画を見えています。地球は365日かけて太陽の周りを一周します。この公転の速さは時速10万kmという想像もつかないスピードで行われています。例えると時速200kmで走る新幹線の500倍の速さで地球は宇宙空間を常に移動しているのです。

もし地球が急ブレーキをかけたらみんな飛んでいってしまうかもしれませんね。因みにみなさんご存知の光は1秒間に地球を7周半するので秒速30万kmです。この宇宙は人間の考えが及ばないような単位で動いています。

日常生活でつい腹が立ったり壁にぶつかった時に、たまにこのスケールの大きな宇宙に目を向けてみると大した悩みではないことに気づかされます。宇宙も神様の懷住まい、心を広く持って生きて行きたいです。



感謝を口に出すと

椿 信代

コロナの影響で日常生活がガラッと変わり、今までの当たり前がすごく特別なものになってしまいました。一部は仕方ないと受け入れ慣れ始めたこともありますが、未だ悔しくて負けたくないこと、抗いたいこともあります。でもきっと、それをものとしめない強い心で乗り越えていくしかないのでしょう。

今年があと3ヶ月弱で終わろうとしている今、自殺者の数がとても増えているとのニュースを目にしました。こんな時己の芯を固く持たなければ、人は苦しい方辛い方へ流されていってしまう気がします。

社会や未来への不安を考えてしまいそうなとき、月が綺麗だなあとか、ご飯が美味しいなあとか、体が元気でありがたいなあとか、ちょっとした嬉しいことや感謝の気持ちを言葉にして過ごしたいです。思っていないことでも改めて口に出すと脳が勘違いして本当にそう感じることもあるようです。

今こそこれを使わない手はないです。

YouTube動画 「天理の教えチャンネル」 配信開始のお知らせ

- 【チャンネル名】 「天理の教えチャンネル」
- 【内 容】 ・御教えを分かり易く、例話や体験談を交えたお話
・現代社会における様々な悩みについてとりあげ、各分野の経験豊富な講師による信仰に基づいたお話
- 【所要時間】 約5分～10分
- 【配信開始】 立教183年10月1日
- 【配信日】 毎月1日、15日
- 【視聴方法】 インターネットやユーチューブで「天理の教えチャンネル」と検索するか、右のQRコードを読み取ってください。



教会ニュース

詰所より

本部秋季大祭前後の詰所での、宿泊・食事・休憩を再開させていただきます。しかしながら新型コロナウイルスが終息したわけではございませんので利用については感染拡大防止の為3密（密閉、密集、密接）を避け、マスクの着用・手洗い・うがい・消毒をして頂きますようお願い致します。
尚、食事に関しては完全予約制とさせていただきますので2日前までに申し込みをしてください。

修養課入学

今月より菅家菊美さんが修養科生としてつとめて下さっています。コロナの影響もあり、生徒さんは少ないようですが勇んでつとめて下さっています。

年祭報告

今月13日に教会において故木村榮子さんの10年祭を会長祭主にてつとめさせていただきました。感染拡大防止の為に親族の皆様は富山県にてつとめて下さいました。



すなお (立教183年10月号)

通 卷 No.723
発行所 天理教瀬戸路分教会
794-0007 今治市近見町4-5-10
☎ 0898-23-5004
FAX 0898-23-5123
発行日 2020.10.16
責任者 二宮英治